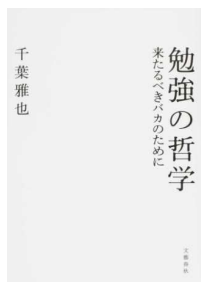




5月新着図書案内



上旬版
富山中部高校図書館



勉強の哲学
来たるべきバカのために
千葉 雅也 著

勉強とは、これまでの自分を失って、変身することである。だが人はおそらく、変身を恐れるから勉強を恐れている。なぜ人は勉強するのか？ 勉強嫌いな人が勉強に取り組むにはどうすべきなのか？ 思想界をリードする気鋭の哲学者が、独学で勉強するための方法論を追究した本格的勉強論。



か「く」「し」「ご」と「
住野 よる 著

きっと誰もが持っている、自分だけの「かくしごと」。みんなには隠している、ちょっとだけ特別なちから。別になんの役にも立たないけれど、そのせいで最近、君のことが気になって仕方ないんだ——。クラスメイト5人の「かくしごと」が照らし出す、お互いへのもどかしい想い。『君の臍臓をたべたい』の著者が贈る、眩しくて時に切ない青春小説。



「原因」と「結果」の経済学
データから真実を見抜く思考法
中室 牧子／津川 友介 著

「テレビを見せると子どもの学力が下がる」「偏差値の高い大学へ行けば収入が上がる」はなぜ間違いなのか？ 本書は世界中の経済学者がこぞって用いる最新手法「因果推論」を数式なしで徹底的にわかりやすく解説。世の中にあふれる「根拠のない通説」にだまされなくなる！



世界でもっとも美しい量子物理の物語
量子のモーメント
ロバート・P・クリース ほか 著

確率や統計で解釈される量子物理学のイメージを、ジョン・アップダイクの小説や1コマ漫画、詩、彫刻などで表現されたものをベースに、数式を使わずに、巧みに概説した科学史ストーリー。量子物理について、哲学っぽいトリビア的な知識と物理学の深い知識を開陳した一冊。

第63回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書が入荷しました！

貸出
できます



フラダン
古内 一絵／著
女子率100%のフラダンス愛好会に集められた4人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場



ストロベリーライフ
萩原 浩／著
富士山麓の苺農家を舞台に新たな人生を模索する家族の物語。甘い苺づくりに夢をかける“甘くな〜い”お仕事小説。



犬が来る病院
大塚 敦子／著
「わたしの病院、犬が来るの」入院中であっても子どもたちが豊かな時間を過ごし、困難を乗り越えていける取り組みを記録。